

ゼミB 平成21年9月27日(日) 10:30~12:00

場所/記号		テーマ・講師	ゼミの内容等	備考
吉田	B 1	どうするの？世界最低の英語力  青谷 正妥 (国際交流センター准教授)	標準英語テストで、日本人の話す力は単独世界最下位。なんと京大生も日本平均と同じ。話す力が無ければ、読・書・聞の能力も貧しいのは、今や英語教育の常識。では発話力を身に付け、他の技能につなげるにはどうするか。恥部も患部も曝け出す現状把握から運用力の総合的養成まで、著書「英語勉強力」に基いてお話しします。	
吉田	B 2	救命の連鎖を学ぶ  平出 敦 (医学研究科教授)	突然、心停止になった方を救命するためには、救命の連鎖が機能しなくてはならない。この授業では、救命の連鎖の概念を学び、これを実現するためにAED(自動体外式除細動器)を使用して、実際に蘇生処置ができるようになることを目標とする。	
吉田	B 3	バングラデシュにおける実践型地域研究ー農民の主体的な技術変革に学ぶー  安藤 和雄 (東南アジア研究所准教授)	20年前バングラデシュのD村で私たちが行った農村開発プロジェクトにおいて、農民にはあまり受け入れられなかった除草具が、現在広まっています。このことをテーマにとりあげ、社会における「変化」は、孤立しておきるのではなく、さまざまなこととの関係で起き、主体的な原動力が必要であることを、ゼミ生のみなさんとともに考えてみます。	
吉田	B 4	幸せって何？日本とドイツの教育現場から考える  鈴木 晶子 (教育学研究科教授) Ruprecht Mattig (教育学研究科助教)	幸せって何なのでしょう？みなさんはどんな時に幸せだと感じますか？いま私たちは幸福感や幸福のイメージが人間のうちにどんなふうにして形作られているのかについて教育学や哲学の観点から探求しています。今回のゼミでは、ドイツ・ベルリンの大学と共同で行った研究をもとに、映像を交えながら紹介し、みんな楽しく話し合いたいと思います。	
吉田	B 5	どのようにガリレオは宇宙を見たのか？  伊藤 和行 (文学研究科教授)	今年は、ガリレオが望遠鏡による天文観測を始めた1609年からちょうど400年になります。彼の天文観測は、近代の天文学そして宇宙論の出発点とも言われます。ゼミではガリレオが残した著作や書簡を用いながら、彼がどのようにして宇宙を観察したのか、その足跡をたどってみましょう。	
吉田	B 6	大地震！震源直上の恐怖  佐藤 裕一 (工学研究科助教)	上町断層、花折断層など、関西は活断層の真上にあります。これらの断層がずれたら街はどうなるでしょう？実は今から10年前、台湾で活断層の直撃を受けた大地震がありました。多くの建物が断層直上で倒壊した一方、どうにか無事な建物もありました。何がこれらの建物の運命を分けたのでしょうか。シミュレーションや簡単な実験で、解説したいと思います。	

場所/記号		テーマ・講師	ゼミの内容等	備考
吉田	B 7	古地図を読む～日本へのまなざし・日本からのまなざし  岩崎 奈緒子 (総合博物館准教授)	15世紀から18世紀の間に描かれた古い地図を並べて、日本がどのように描かれたのか、日本人が世界をどのように描いたのか、その違いを観察します。そこには、現代の私たちからは想像できないような姿があります。古地図を手がかりとして、人間がどのように世界を見てきたのか、その特徴や変化を知ることができるでしょう。	
吉田	B 8	私たちの世界を広げてきた望遠鏡  長田 哲也 (理学研究科教授)	ガリレオ・ガリレイが天空に望遠鏡を向けてから400年、観測装置の発達によって私たちの世界が広がってきた。世界天文年にちなんで天文学の歩みを解説した後、簡単な光学実験をして、実際に望遠鏡を手作りしてみる。	
宇治	B 9	観測地震学-ふだん地面はどれくらい揺れているか-  加納 靖之 (防災研究所助教)	地震が発生したときに報道される震度やマグニチュードはすべて地震計で測定した地面の揺れをもとに算出しています。また、地震がつくりだす地面の揺れ方を調べることによって、地震の起こった場所(震源)や断層の動き方、地下や地球内部の構造などがわかります。この実習では地震計を使って地面のわずかな揺れを測ってみましょう。	